

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【公開番号】特開 2018-134169 (P2018-134169A)
 【公開日】平成 30 年 8 月 30 日 (2018.8.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-033
 【出願番号】特願 2017-29631 (P2017-29631)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 14 日 (2020.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の変動表示を行う識別情報表示手段を備え、識別情報の変動表示の表示結果が特定表示結果となったことに基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技が実行可能となる遊技機であって、

識別情報の変動表示に伴って所定の演出表示を行う演出表示手段と、

前記演出表示手段の演出表示を制御する演出制御手段と、

を備え、

前記演出制御手段は、

前記演出表示手段における表示領域を複数の領域に分割して該複数の領域の各々で所定画像の変動表示を実行可能であり、

前記複数の領域の各々で変動表示が終了したときの所定画像の表示態様に応じて、前記複数の領域の全部または一部で、再度、所定画像の変動表示を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記複数の領域の各々で変動表示が終了したときの所定画像の表示態様が第 1 表示態様である場合、前記複数の領域の全部で、再度、所定画像の変動表示を実行する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記複数の領域の各々で変動表示が終了したときの所定画像の表示態様が第 2 表示態様である場合、前記複数の領域の一部で、再度、所定画像の変動表示を実行する

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前述の課題を解決するために、本発明は以下の構成を採用した。

すなわち、手段 1 の遊技機は、

識別情報の変動表示を行う識別情報表示手段を備え、識別情報の変動表示の表示結果が特定表示結果となったことに基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技が実行可能となる遊技機であって、

識別情報の変動表示に伴って所定の演出表示を行う演出表示手段と、
前記演出表示手段の演出表示を制御する演出制御手段と、
を備え、

前記演出制御手段は、

前記演出表示手段における表示領域を複数の領域に分割して該複数の領域の各々で所定画像の変動表示を実行可能であり、

前記複数の領域の各々で変動表示が終了したときの所定画像の表示態様に応じて、前記複数の領域の全部または一部で、再度、所定画像の変動表示を実行可能である

ことを要旨とする。

また、手段２の遊技機は、前述した手段１の遊技機において、

前記複数の領域の各々で変動表示が終了したときの所定画像の表示態様が第１表示態様である場合、前記複数の領域の全部で、再度、所定画像の変動表示を実行する

ことを要旨とする。

また、手段３の遊技機は、前述した手段１又は２の遊技機において、

前記複数の領域の各々で変動表示が終了したときの所定画像の表示態様が第２表示態様である場合、前記複数の領域の一部で、再度、所定画像の変動表示を実行する

ことを要旨とする。